

VACUSILL 吸引ボトル

取扱説明書

- 正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- 取扱説明書は必ず保存してください。なくされた時はご相談ください。

——目次——

安全に正しくお使いいただくために

- はじめに
- 各部の名称
- 現品の確認
- 使用方法
- 使用後の手入れ
- 保守点検
- トラブルシューティング
- 仕様

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は以下のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い内容を示しています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

警告	
・破損した機器は絶対に使用しないでください。 正常な機能や安全を保てなくなります。	
・改造や修理は絶対にしないでください。 正常な機能や安全を保てなくなります。	
・本器に過剰な外力を加えないでください。 機器破損の原因となります。	
・使用前点検は必ず実施してください。 正常な機能や安全を保てなくなります。	
・保守点検は必ず実施してください。 正常な機能や安全を保てなくなります。	
・点検で異常の発見された機器は絶対に使用しないでください。 正常な機能や安全を保てなくなります。	
・フロートは減圧、加圧する滅菌、洗浄等では使用しないでください。 本フロートは、密閉構造となっており、機器破損の原因となります。	
・吸引用圧力調整器に接続する際は、確実に吸引源接続口に接続してください。 正常な機能や安全を保てなくなります。	
・滅菌、消毒、洗浄は、本書をよく読んでから行ってください。 プラスチック部品が劣化し、機器破損の原因となります。	
・本器はその使用方法について適切な教育を受けた人のみが使用してください。 正常な機能や安全を保てなくなります。	
・吸引用圧力調整器は、必ず弊社製品を使用してください。 正常な機能や安全を保てない場合があります。	
・吸引用圧力調整器（弊社製品）は、その取扱説明書をよく読んでから使用してください。 正常な機能や安全を保てなくなります。	
・吸引用圧力調整器からのチューブは、吸引源接続口側（VACUUM）に接続してください。 フロートが作動せず、機器破損の原因となります。	
・フロートは必ず取付けて使用してください。 機器破損の原因となります。	
・医療用配管設備の吸引以外で使用しないでください。 機器破損の原因となります。	
・ボトルに吸引物が溜まり、フロートが作動して吸引が停止した場合はすぐに吸引物を廃却してください。 機器破損の原因となります。	
注意	
・本器に、落下等で衝撃を与えた場合、製造販売元等に点検を依頼してください。 正常な機能や安全を保てない場合があります。	
・蓋を開けると、蓋のチューブ掛けや固定フックに力をかけないでください。 機器損傷の原因となります。	

■適用

本器は、医療機器に該当します。日本国内にてご使用ください。

1. はじめに

主として回復室、病室、手術室等で使用され、医療用吸引配管設備の配管末端器（アウトレット）から導かれた吸引圧力により術後の患者の汚物等の吸引物を吸い込みボトル内に貯留します。

その他の用途には使用しないでください。

2. 各部の名称

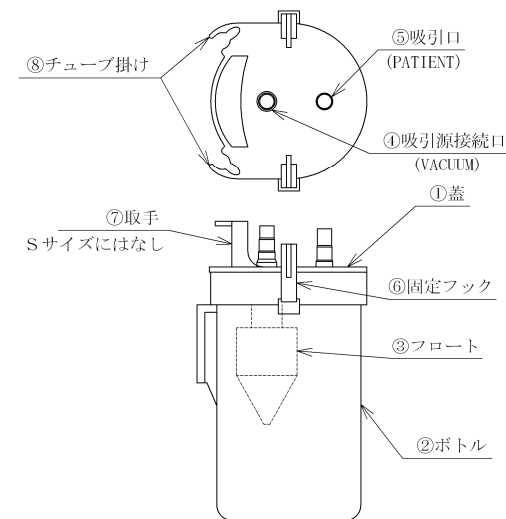


図-1

3. 現品の確認

収納箱より取り出し、次の項目について確認してください。

万一一部の不足あるいは破損、不具合などがございましたら、お買い上げの代理店へご連絡ください。

3-1. 部品の不足はないか（表-1 参照）。

表-1

No.	名称	数量
1	VACUSILL 吸引ボトル	1個（フロート付） ●サイズ（最大目盛、次の何れか） S：0.8L M：1.3L L：3.5L ●材質、次の何れか PC：ポリカーボネート PSU：ポリサルフォン
2	取扱説明書（本書）	1部
3	添付文書	1部

3-2. 輸送による破損および不具合はないか。

- 蓋①、ボトル②、フロート③に変形、破損はないか。
- ボトルサイズ（S、M、L）は、合っているか。
- ボトル材質（PC、PSU）は、合っているか。
- 蓋①、ボトル②、フロート③は、スムーズに組立ができるか。
- その他の部品に割れおよび変形などの異常はないか。

4. 使用方法

4-1. 使用前の確認および準備

使用前には必ず、次のことを確認してからお使いください。

- 蓋①、ボトル②、フロート③の構成部品に変形、破損等の異常がないか確認してください。
- 本機器の蓋①、ボトル②、フロート③を組立ててください。
フロート③は必ず取付けて使用してください。吸引した吸引物による吸引圧力調整器の故障や吸引配管設備内の詰まりの原因となります。
- 本器の吸引源接続口④を吸引圧力調整器（別売）のチューブと確実に接続してください。
チューブは、吸引源接続口④の一段目まで差し込んでください。
吸引用圧力調整器は、弊社製品をご使用ください。
- 吸引口⑤にお客様でご使用のチューブを接続してください。
チューブは、吸引口⑤の一段目まで差し込んでください。

4-2. 使用方法

- 吸引圧力調整器（別売）の取扱説明書に従い、吸引圧力を調整して吸引を開始してください。
- 吸引物は、VACUSILL 吸引ボトルの最大目盛に到達する前に、廃却してください。
ボトル②に吸引物が溜まり、フロートが作動して吸引が停止した場合はすぐに吸引物を廃却してください。
蓋を開けると、蓋のチューブ掛け⑧や固定フックに力をかけないでください。Mサイズ、Lサイズの場合は取手を持って、Sサイズの場合は図-2のようにして蓋をあけてください。

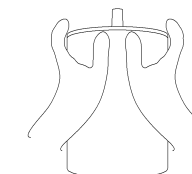


図-2

- 使用後は速やかにチューブを取り外し、手入れ（※）を行ってください。
※「5. 使用後の手入れ」を参照してください。
- 手入れ後、すぐに使用しないときは所定の保管場所にて保管してください。

《保管場所の条件》

- ◆ 水のかからない場所であること。
- ◆ 温度、湿度等が著しく高くない場所であること。
- ◆ 振動等のない場所であること。
- ◆ ゴミ、塵埃等が入らない場所であること。

5. 使用後の手入れ

本機器は滅菌、消毒が可能です。所定の廃棄処理場で吸引物を廃却し、汚れを落とした後、必要に応じて滅菌、消毒を行ってください。

これらの部品は、ゴム、樹脂で構成されており、使用状況等により劣化度合に差が生じます。

- フロート③は密閉構造ですので、減圧、加圧工程を有する滅菌、洗浄等はできません。ご使用の機器をご確認ください。

1) 滅菌について

(1) オートクレーブ

VACUSILL 吸引ボトル（フロート③除く）は、オートクレーブ（PC製：121℃、PSU製：135℃）が可能です。汚れを落とし、必要に応じて滅菌を行ってください。これらの部品は、ゴム、樹脂で構成されており、使用状況・滅菌方法等により劣化度合に差が生じます。

(2) エチレンオキサイド滅菌

VACUSILL 吸引ボトル（フロート③除く）は、エチレンオキサイド滅菌（55℃）が可能です。汚れを落とし、必要に応じて滅菌を行ってください。これらの部品は、ゴム、樹脂で構成されており、使用状況・滅菌方法等により劣化度合に差が生じます。

2) 消毒について

VACUSILL 吸引ボトルは、消毒が可能です。汚れを落とし、必要に応じて表-2-1および表-2-2の使用可能薬品で消毒を行ってください。これらの部品は、ゴム、樹脂で構成されており、使用状況・消毒方法等により劣化度合に差が生じます。

表-2-1 (材質:PC の場合)

一般名	商品名	使用濃度
グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン マスキン液	0.1～0.5%
グルタルアルデヒド	ステリハイド	2%
塩化ベンザルコニウム	オスバン ジアミトール	0.1%

表-2-2 (材質:PSU の場合)

一般名	商品名	使用濃度
グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン マスキン液	0.1～0.5%
グルタルアルデヒド	ステリハイド	2%
両性界面活性剤	テゴ-51 アノン300	0.2～0.5% 0.05～0.5%
エチルアルコール	消毒用エタノール	原液

6. 保守点検

安全および性能維持のために保守点検は、次の項目について実施してください。万一故障が発見されたときあるいはご不明の点やご質問がございましたら、弊社またはお買い上げの代理店へご連絡ください。

- 耐用年数は2年間です。使用状況等により部品の劣化度合に差が生じ、場合によっては耐用年数に達する前に交換して頂くことがあります。

■ 製造年月の読み方

例 “11 04” ……2011年 4月生産

生産月を01～12で表示しています。

生産年を西暦下2桁：00～99で表示しています。

6-1. 日常点検

日常、次の点をチェックしてください。

《使用前の点検》

- 蓋①、ボトル②等にキズ、亀裂などがないか。
- フロート③はスムーズに動くか。

《使用中の点検》

- 使用中、蓋①、ボトル②から漏れはないか。
- 吸引圧力に異常はないか。
- ボトル内の吸引物が最大目盛まで達していないか。

《使用後の点検》

- 5項に従い手入れをしてください。
- すぐに使用しないときは、十分に乾燥させたのち、所定の保管場所にて保管してください。点検で異常が認められた場合は弊社またはお買い上げの代理店へご連絡ください。

6-2. 定期点検

安定した機能を確保するために定められた期間（1年毎）で定期点検を実施してください。

定期点検は、弊社またはお買い上げの代理店へお申し付けください。

点検内容：破損、表示

6-3. 交換部品

本機器は、ゴム、樹脂部品で構成されており、使用状況・滅菌・消毒方法等により劣化度合に差が生じます。点検で異常があった部品は、表-3を参照いただき、新しい部品と交換してください。

表-3

No.	名称	使用部位
1	蓋本体	蓋①
2	蓋パッキン	
3	ボトル②	—
4	フロート本体	フロート③
5	フロートパッキン	

6-4. 廃却

交換した部品、および本体の廃却は、感染性廃棄物として正しく処理してください。

7. トラブルシューティング

このようなときは	ここをお確かめください
吸引できない。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 吸引源側の吸引圧力調整器が正常に作動しているか確認してください。 ◆ 蓋①、ボトル②、および蓋①のパッキンに割れ等の破損がないか確認してください。 ◆ 蓋①のパッキンが外れていないか確認してください。 ◆ ご使用のチューブが閉塞していないか確認してください。 ◆ フロート③が作動した状態になっていないか確認してください。

8. 仕様

一般的名称	吸引器用ボトル
販売名	VACUSILL 吸引ボトル
届出番号	28B1X00001000010
外形寸法	S: φ105×167mm M: φ140×150mm L: φ140×355mm
質量	S: 約270g M: 約400g L: 約650g
材質	PC (ポリカーボネート) PSU (ポリサルフォン) の何れか
使用圧力範囲	0～80kPa
使用温度範囲	0～40℃ (結露なきこと)
保管温度範囲	-20～60℃ (結露なきこと)

エアウォーター防災株式会社

AIR WATER SAFETY SERVICE INC.

神戸本社・本社工場

〒651-2271 神戸市西区高塚台3丁目2番地16

(代表) TEL.078-992-1400 FAX.078-993-2076

東京本社

〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目12番3号

(医療代表) TEL.03-5435-7921 FAX.03-5435-7915

(総務受付) TEL.03-5435-7920

大阪支社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目1番3号

(医療代表) TEL.06-6394-9521 FAX.06-6394-9532

(総務受付) TEL.06-6394-9520

中部支社

〒460-0012 名古屋市中区千代田5丁目5番15号

(代表) TEL.052-262-5371 FAX.052-262-5375

札幌営業所

〒060-0008 札幌市中央区北三条西1丁目2番地

サンワビル4F

(代表) TEL.011-210-0710 FAX.011-251-6621

仙台営業所

〒984-0031 仙台市若林区六丁目字南97番3号

(代表) TEL.022-288-5012 FAX.022-287-3077

広島営業所

〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号

(代表) TEL.082-264-3565 FAX.082-264-3568

福岡営業所

〒812-0895 福岡市博多区竹下4丁目7番27号

(代表) TEL.092-483-7510 FAX.092-483-7513